

一般社団法人日本鉱物科学会

2023年度 第3回定例理事会 議事録

【1】 招集年月日：2024年7月31日(水)

【2】 開催年月日及び時刻：2024年8月24日(土) 15時00分～16時45分

【3】 開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】 理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】 出席理事数：20名

会長：大和田正明 副会長：井上 徹

理事：阿部なつ江，池田 剛，磯部博志，鍵 裕之，亀井淳志，川本竜彦，河上哲生，
興野 純，黒澤正紀，高澤栄一，辻森 樹，土屋範芳，富岡尚敬，永井隆哉，
永蔭真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar，三宅 亮

【6】 欠席理事数：2名 大藤弘明，栗林貴弘

【7】 出席監事：下林典正

【8】 オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫 行事幹事，瀬戸雄介 Elements幹事，安東淳一 庶務副幹事，道林克禎 2024
年年会運営委員会委員長，西原 遊 JpGU2023プログラム正委員，門馬綱一 新鉱物・
命名・分類委員会委員長，遠藤俊祐 選挙管理委員長，横山 正 選挙管理委員，猪狩
由衣 日本鉱物科学会事務局(小宮山印刷工業(株))

欠席：土屋 旬 IMA小委員会委員長・学術会議連携会員，秋澤紀克 研究発表優秀賞選考委
員会委員長，林信太郎 教育普及委員会委員長，福士圭介 JpGU2023プログラム副委
員，伊神洋平 選挙管理委員

【9】 議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事19名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2023年度第3回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会長・副会長の職務執行報告（大和田会長，井上副会長）

会長より，学会の状況について簡単な報告があった．個別の業務は各担当者に一任していることから，議事次第に沿って各担当者から報告を行う旨，発言があった．

2. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より2023年度第2回定例理事会(2024年5月20日)以降の会員動静について以下の通り報告がなされた．

物故会員1名，退会者20名（シニア会員7名，一般会員8名，学生会員5名）

この結果，2024年8月24日現在の会員数は

813名(2024/5/20定例理事会)-1(物故)-20(退会)=792名 となった．

なお，54名の入会申込みに対し，この後審議を行う．

また，2年間会費未納会員4名について，会員資格停止予定であることが報告された．

3. 広報報告（大藤広報幹事・理事 代理 磯部庶務幹事）

大藤広報幹事欠席のため，以下の項目をはじめ広報活動が活発に継続されている旨報告された．詳細は次回以降の理事会で報告される．

- 1) 会員へのML送信
- 2) 学会新ホームページ，公式SNS，Youtubeを通じた広報活動
- 3) 2024年連合大会で現地ブース出展

4. 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事・理事）

高澤和文誌幹事より，2024年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況が議事資料に沿って報告された．

電子ジャーナル53巻1号6編が公開された．総説 講義シリーズが始まった．10回にわたって掲載される．論文数，ページ数とも前年より増加傾向にある．

5. 英文誌編集報告（M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事）

M. Satish-Kumar英文誌幹事より，2024年5月20日第2回定例理事会報告以降の編集，出版状況が議事資料に沿って報告された．

2023年のJMPS Impact Factor: 0.9となり，2022年の0.7から微増となった．さらに上昇するよう，会員の皆さまの積極的な投稿をお願いしたい．

6. 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より，2024年5月20日第2回定例理事会報告以降の状況について以下の報告がなされた．

- 1) 2023年度第2回定例理事会議事録作成，第3回定例理事会(2024/08/24：WEB会議)日程調

整、開催準備、WEB会議準備、資料作成

- 2) 2023年度定時総会開催日時、準備、ZOOM設定、総会資料作成、場所、開催方法などの検討と準備、受賞者へ受賞通知、授賞式記念品準備、各委員会開催案内
- 3) 2023年度各賞受賞者への受賞通知、授賞式記念品準備
- 4) 後援、共催、協賛対応
- 5) 令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦依頼
- 6) モンゴル資源地質学会との交流協定延長に向け、会長、渉外幹事への協力
- 7) 役員改選にあたり、選挙管理委員会への投票システム設定支援

7. 行事・年会報告（片山行事幹事、道林2024年LOC委員長）

片山行事幹事より、2024年年会へ240件の発表申込みがあり、昨年の年会（182件）より大幅に増え、コロナ前2019年の222件よりも多くなっている旨報告された。企業出展も、広告費を値上げしたにもかかわらず11件と増え、広告収入総額が43万円と前年より倍増している。現在オンラインで登録受付中であり、LOCと協力して準備を進めている。学生発表優秀賞エントリーも68件と増えているため、授賞数をエントリーの一割程度まで増やしたいので、ガイドラインの改正を提案したい。

道林2024年LOC委員長より、LOCとしてハイブリッド対応を含め鋭意準備を進めている。多くの皆さまのご参加をお待ちしている旨発言があった。

8. 渉外報告（永島渉外幹事・理事）

モンゴル資源地質学会との学術交流協定が延長の運びとなり、本年年会での調印式に向けて準備を進めている。調印式で手渡す記念品（萩ガラス製）を作成したので紹介する。

9. 2023年度会計報告（富岡会計幹事・理事）

議案の2023年度決算資料について、前年度との変動分を中心に詳細が報告された。2023年度は、100万円余りの黒字分が正味財産額の増加となっている。基本的には良好な財政状況となっている。

10. IMA小委員会・学術会議報告（土屋IMA小委員会委員長 代理：磯部庶務幹事）

地質遺産100選について

The 3rd 100 IUGS geological heritage sites（第3回地質遺産100選）に糸魚川地方をIMA小委員会から推薦するために資料の準備を行うことになった。

現在、大藤会員、森下会員、辻森会員を中心に申請準備を進めている。

今後、第4・5回の募集にも当小委員会から推薦する予定で検討を始めている。

11. 博物館委員会報告（坂野委員長 代理：磯部庶務幹事）

- 1) 11月、4月、6月、8月開催のIMA博物館委員会（IMA-CM）web会議報告

8月英国開催の国際会議M&M10の最新情報を共有。EMCと連続する形としたがこれまで

よりも参加者が少ない。2026年に向けたIMA-CMのboard member人事（3名）を進めている。タイプ標本プロジェクト・標本調製の開示（業者による標本の加熱問題）・研究用標本コレクション・鉱物コレクションのデジタル化が議論された。

2) IMA-CMのweb会議報告を各委員に送り情報共有を行なった。

JAMS博物館委員会のあり方について名古屋大会時に新委員候補も交えて意見交換を行う予定。

12. 次期役員候補者選挙報告（遠藤俊祐 委員長）

7月10日から26日まで投票を行い、169票の有効投票が得られ、結果について公示した。総会に諮ることとなる。

13. 将来企画委員会報告（井上委員長・副会長）

第2回理事会以降、委員会は開催していない。検討を継続する。

14. その他の報告

地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）

1) ウォリス サイモン会長（東京大学）はじめ、JpGUの新体制が発足した。

2) 2026年5月JpGU大会は、AGUとのJoint Meetingの予定。基本的に全てのセッションがJointセッションという位置付け。2025年大会も含めて、Joint Meetingを見据えた様々な準備を進めている。

3) 大会時のアルバイトや、JpGU事務局への理不尽な要求・ハラスメント事案が報告されているが、断固として許さないという姿勢で対応を検討している。

II. 審議事項

第1号議案 新入会承認（阿部会員幹事・理事）

議事資料の通り、一般会員9名、学生会員45名の入会申請が紹介された。うち、一般会員5名は紹介者がなく、自己紹介文による申込みであったため、自己紹介文を提示した。また、学生会員のうち2名は中学生からの自己紹介による入会申込であった。審議の結果、54名すべて異議なく入会が承認された。この結果、2024年8月24日現在の会員数総数は846名

（内訳一般会員523名、シニア会員161名、学生会員115名、永年会員38名、名誉会員9名）で、2023年8月24日の定例理事会後より37名の増加となった。

第2号議案 特定資産「学会賞・奨励賞・論文賞基金」の一般会計への組み換えについて（富岡会計幹事・理事）

富岡会計幹事より、特定資産「学会賞・奨励賞・論文賞基金」細目の残高は、2024年度中に赤字に転じる状況であり、同細目の財源は一般会計以外にないため、会計処理の簡略化も勘案して、一般会計に組み換えるのが望ましい状況となっている旨説明があった。

このため、学会賞・奨励賞・論文賞基金を一般会計へ組み換えることが提案され、審議の結果、異議無く承認された。なお、渡邊萬次郎賞基金についても近年中に尽きることとなるため、検討を要することが付言された。

これに伴い、「日本鉱物科学会年会開催のガイドライン」および「論文賞表彰のガイドライン」について、被表彰者の懇親会招待の規定に改正が承認された。

第2号議案の2 日本鉱物科学会研究発表優秀賞に係わるガイドラインの改正について（磯部庶務幹事・理事，説明：片山行事幹事）

「日本鉱物科学会研究発表優秀賞」について、発表賞エントリー数の1割程度を表彰することとする改正が提案され、審議の結果、異議無く承認された。

第3号議案 2024年度補正収支予算案について（富岡会計幹事・理事）

富岡会計幹事より、2024年5月20日の第2回定例理事会で承認いただきました2024年度予算案について、①7月31日の決算後の確定繰越金計上、②8月24日現在会員数の会費納入額再見積、③第2号議案で提案した特定資産の組み替えなどの変更を反映して予算を再計算した旨が説明された。議事資料掲載の2024年度収支補正予算が提案され、審議の結果、異議無く承認された。

来年度はおよそ30万円の支出超過を予定しており、繰越金の取崩によって補填する。財政状況は改善したが、完全に安心できる状況ではなく、今後も慎重に運営していく必要がある旨付言があった。

第4号議案 2023年度（一般社団法人第8期）決算及び事業報告の審議

（大和田会長，井上副会長，富岡会計幹事，磯部庶務幹事，下林監事）

議事資料「2023年度総会資料，決算及び事業報告」に基づき，説明，審議を行った。

1. 決算説明：2023年度（第8期）決算について（富岡会計幹事）
2. 事業説明：2023年度（第8期）事業報告について（総会資料）（大和田会長，磯部庶務幹事）
3. 監査報告：（下林監事）

これら説明，報告に基づき，審議の結果本議案は異議無く承認された。

第5号議案 定時社員総会招集のための審議（大和田会長・井上副会長）

議事資料に基づき，定時総会の開催日及び場所，目的事項（報告事項，決議事項）について説明され，審議の結果，異議無く承認された。

第6号議案 社員総会への「電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による代理人による議決権の行使（委任状）と書面による議決権の行使について（磯部庶務幹事・理事）

議事資料に基づき、定款に規定されている、社員総会に出席しない社員による「代理人による議決権の行使(委任状)と書面による議決権の行使」について、電磁的方法(電子メールなど、FAX)」による議決権の行使を認めることとすることが提案され、審議の結果、異議無く承認された。

第7号議案 研究発表優秀賞選考委員会委員の任命および交代について（秋澤委員長，磯部庶務幹事）

議事資料に基づき、秋澤委員長より1期目委員5名の推薦並びに2期目委員のうち1名の交代について提案され、審議の結果、異議無く承認された。

研究発表優秀賞選考委員会

新規1期目5名 松本 徹(副委員長)，西山直毅，永治 方敬，安武正展，濱田麻希

継続2期目5名 秋澤紀克(委員長)，延寿聡美，松本恵，苗村康輔，北野一平（交代委員）

第8号議案 名誉会員候補者推薦委員の任命について（大和田会長）

第2回定例理事会で設置が承認された名誉会員推薦委員会の委員として次の会員が推薦され、審議の結果、異議無く承認された。

委員：大和田正明，鍵 裕之，中村美千彦，富岡尚敬，宮脇律郎

続いて、大和田会長より中村美千彦委員が委員長として指名された。

第9号議案 2026年年会候補地ならびに運営委員長について（磯部庶務幹事・理事，説明：片山行事幹事）

2026年の年会を以下の通り開催することが提案された。

候補地：東京大学（本郷キャンパス）

運営委員長：鍵裕之（東京大学）

審議の結果、異議無く承認された。

第10号議案 モンゴル資源地質学会と一般社団法人日本鉱物科学会との学術交流協定延長について（大和田会長）

モンゴル資源地質学会と一般社団法人日本鉱物科学会との学術交流協定について、議事資料に示す協定文をもって延長する旨、相手方から同意を得ている旨が説明された。本協定文について審議の結果、異議無く承認された。

その他審議事項

特になし。

会議の最後に、大和田会長ならびに道林2024年年会LOC委員長から挨拶があった。

【10】閉会

閉会 以上の議事を終え、16時45分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和 6年 8月 30日

会 長 大和田 正明 印

副会長 井上 徹 印

監 事 下林 典正 印

(配布時押印省略)